

# 第60回西宮市人権・同和教育研究集会

## 【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
1	就学前教育	朝日愛児館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して自分の思いを出せるよう一人一人の子供を受け止め寄り添い、「互いに認め合い、共に育つ仲間作り」を目指した取り組み。</li> <li>・職員間の連携を図り子供理解を深めて、一人一人に寄り添う保育をしていく中で人権意識を高めるための取り組み。</li> <li>・保育所と保護者が連携し、共に子育てをしていくための取り組み。</li> </ul>
		①	<p>本園の人権教育目標「互いに認め合い、共に伸びる子供の育成」の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 友達との関わりを大切に、自尊感情を育てる(5歳児)</li> <li>② 生命の大切さに気付き、野菜を調理し食べたりすることで、食への関心や感謝の心を育てる(全園児保健指導)</li> <li>③ 友達の良さに気付き、支え合える仲間作りをすすめる(4歳児)</li> </ul>
		小松朝日保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して自分の思いを出せるように、一人一人の子供の気持ちに寄り添い受け止め子供中心の保育を目指し、子供理解や保育士の援助、関わり方の取り組みについての報告。</li> <li>・友達関係を広げながらお互いに思いを伝え合い、切磋琢磨しながらも認め合える仲間づくりの実践報告。</li> <li>・子供の身近な体験から命の大切さを知らせる場面の報告。</li> </ul>
		②	<p>本園の人権目標「互いに認め合い、ともに伸びようとする子供の育成」を人権教育の目標とし、子供理解や教師の援助についての取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分の思いをのびのびと表現する子供の育成。</li> <li>② 自尊感情を育む。</li> <li>③ 生命の大切さに気付き、思いやりの心を育てる。</li> </ul>
2	学校教育	上ヶ原小学校	<p>子どもたちが自分のことも他者のことも受け入れ、認め合い、違いを尊重した仲間づくりに向かうために私たち教職員ができることは何か、考えながら取り組んできたことについての実践報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上ヶ原小学校が大切にしてきた、教職員がチームとして子どもの成長を支えるための取り組みについて。</li> <li>・3年ぶりの人権参観・懇談会に向けた取り組みと、授業実践について。</li> <li>・取り組みの中で見えてきた子どもたちの実態と変容。</li> </ul>
		③	<p>本校では、多様性を尊重する教育活動を推進している。そのために、教員は、ここ3年間、講師を招いて研修を行っている。テーマは、一昨年度は同和教育、昨年度はLGBTs、そして、今年度はヤングケアラーとLGBTsである。本報告では、LGBTsの研修を受けて教員が何を学び、それを、どのように活かそうとしたのかについて、報告する。</p> <p>※セクシュアルマイノリティについて、本校では、現在“LGBTs”と呼ぶことにしている。</p>
		東山台小学校	<p>神戸女学院中学部では、「愛神愛隣」という永久標語をもとに、キリスト教主義や「自由と自治の精神」に基づく教育が実践されている。人権に関連する取り組みとしては、全校生対象の人権学習会や希望者対象のハンセン病療養施設・自殺防止の取り組みを行う教会などへの訪問や、児童養護施設の子供達を招く行事などがある。永久標語の中の「愛隣」が生徒の間に自然と浸透しているか、その結果人権を尊重する風土につながっているかを紹介する。</p>
神戸女学院中学部			

# 第60回西宮市人権・同和教育研究集会

## 【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
2 学校教育	④	瓦木小学校	<p>「人と人がつながる輝く瓦木っ子 ～子どもたちの居場所がある集団づくり～」を人権教育目標とし、つながるために大事にしてきたことと具体的な取り組みについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がにつながる</li> <li>・子供たちがにつながる</li> <li>・小中がにつながる</li> <li>・保護者とにつながる</li> </ul>
		真砂中学校	<p>真砂中学校は、「主体的に学び行動する力と思いやりの心を育む“あいさつ 笑顔 感謝”」という学校教育目標の下、教育活動を行っている。生徒指導の3機能を意識しながら、校内すべての諸活動と連携し、開発的、予防的生徒指導の展開をはかり実践することで、「生徒一人ひとりに存在感のある居心地のよい学級づくり」ができるよう、職員が一丸となり指導している。</p> <p>めまぐるしい時代の変化の中で、生徒が居心地良く過ごすためには、教師が生徒の心の変化を敏感に察知する必要がある。生徒一人ひとりを理解するために【こころん・サーモ】を使った真砂中学校独自の取り組みを報告する。</p>
		県立西宮甲山高等学校	<p>本校は、「己を究め、ふれあいのなかに明日を開く」を校訓とし、自己の教育力を身につけさせ、社会の変化に対応できる個性の育成に努めるよう、体験的な生徒参加型学習の中から、生命と人権の大切さを理解し、共生できる心を育む機会を増やしている。その中でも、自分の「夢」を見つけ、自己の力でその夢にむかって進むための体験学習の紹介を行う。</p>
	⑤	小松小学校	<p>「いのちをだいに ころをだいに ものをだいに」という小松小の合言葉のもと、子供や保護者、地域などつながり合い、心を育むことを大切にした本校の人権教育の取り組みについての報告。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「児童養護施設とのつながり」 背景を知り、密な情報共有が生み出したもの</li> <li>②「保護者・地域とのつながり」 力を合わせることでできること</li> <li>③「子供たちとのつながり」 温かい関わりの中で変わっていく児童</li> </ol>
		塩瀬中学校	<p>「人権尊重の精神を身に付け、差別を解消する実践力を持った生徒の育成」という本校の人権教育目標を元に、LGBTQに関する正しい理解など、今日的な人権課題として、多様性に関する全学年の授業実践の報告を行う。</p>
		大手前大学	<p>本学は、建学の精神「STUDY FOR LIFE(生涯にわたる、人生のための学び)」を掲げ、行動指針に「私たちは、学生、教職員はもとより、全てのステークホルダーの人権、人格、個性、価値観、プライバシーを尊重します」と宣して教育の提供を行っている。障害者差別解消法の施行を目前に本学が定めた『障がい学生支援規程』の制定から約8年となる。改正法の施行を来年に控え、これまでの取り組みを検証し、成果と今後の課題を明らかにしたい。</p>

# 第60回西宮市人権・同和教育研究集会

## 【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
3	⑥	平木中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育修了となる卒業時、すべての生徒、とりわけ自分ではどうすることもできない環境に置かれた子供たちが夢と希望を抱いて、目標をもって社会へ巣立つことを目指している。</li> <li>・卒業後の進路を考える上で、「学力」の定着は大切な要素となる。本校では入試等で必要な「学力」と、その支えとなる生活習慣や人と関わる力といった「生きる力」の育成を目指し、取り組みを行っている。</li> </ul>
		市立西宮高等学校	<p>本校は、生徒一人ひとりを大切に、知・徳・体を備えた調和ある人格を育む全人教育を目指している。具体的には、学業、学校行事、部活動の3本柱について全力で取り組む校風を育み、全人教育の実現を図ろうとしている。今回の報告では、「進路保障」＝生き方保障という観点から、3年間の人権教育の概要、生徒理解・生徒支援のための取組、生きる力を育む取組、学力保障のための取組等、本校の現状と取組について報告する。</p>
		関西学院高等部	<p>本校では、建学の精神に根ざした人間観に基づき、以下の点を主眼とする人権プログラムを長年にわたり実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常に潜む人権侵害に対し、毅然として立ち向かう人権感覚を養うこと</li> <li>・多様な他者を受け入れる柔軟で幅広い人間観を持つこと</li> <li>・貧困や差別などの社会的不公正に関心を持ち、共感的視点を持つこと</li> </ul> <p>大学推薦制度を特色とする本校において、これらの視点は、目前の進路選択のみならず、生徒の今後の生き方の根幹に関わる課題であると考えている。</p>
4	⑦	大阪熱処理株式会社	<p>当社の採用活動と社員教育の基本方針、考え方などを紹介しながら、ここ数年の採用実績を報告します。年々厳しくなっている採用状況の中、当社では以前から必要になってから人材を採用するのではなく、ある程度のラップ期間を考慮したうえで毎年採用活動を実施し、入社時の能力よりも、5年先、10年先に活躍できる人材を見極め、スペシャリストよりもゼネラリストを育成し企業運営を進めています。</p> <p>近年、ジョブ型雇用など多様な働き方が注目されるようになってきていますので、そういったこと意識しながら雇用環境を構築していく必要性を感じています。</p>
		株式会社共立合金製作所	<p>社会の一員である従業員の人権保護を目的とし、透明度の高い評価制度、健全な労使関係の構築、ハラスメント対策、ストレスチェックの実施等を通じて働きやすい労働環境の維持、向上を目指している。その中で特に、昨今より注目を浴びているハラスメント対策、ストレスチェックについての事例を主に報告を行う。</p>
5	⑧	PTA部	<p>今年度のPTA部会では、山崎清治さん(無人島学校校長・NPO法人生涯学習サポート理事長)に講演していただきます。山崎さんは、子どもたちに無人島で自給自足体験をさせることにより、自己肯定感を抱かせたり、真の自立を促したりする活動を毎年続けておられます。現代の子どもに必要な「生きる力」の育成メソッドを深い内面理解にもとづいた山崎さんの実践から学びます。涙あり笑いありの山崎さんのお話は、子育てや教育へのヒントが満載です。また講演終了後には、山崎さんを交えた意見交換会も予定しています。</p>

# 第60回西宮市人権・同和教育研究集会

## 【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
6	「男女共生」Ⅱ	男女共生部	<p>「デートDV予防講座」～ステキな関係を築くための人権学習～</p> <p>昨年に続いて、伊田広行さんに登壇いただきます。労働問題、ジェンダー論、ワーク・ライフ・バランス、DV被害・加害など、数多くの社会問題を踏まえ、学生に向けた『デートDV予防授業』を構築。DV問題が表面化し始めた頃から、大阪経済大学、神戸大学ほかで授業を実践してこられています。</p> <p>DVはジェンダー意識が色濃く関わっています。そのメカニズムを知ること、「なぜ暴力を振るうのか、振られるのか」が納得・解明！専門家は交際が始まる前に予防授業を受けることが望ましいと言います。</p> <p>伊田さんのわかりやすいお話で、教え子、知人、はたまた自分は、もしかしてDV関係かも?! な～んてきづきもあるかも知れません。介入方法のヒントも得られる本講座。学びは今です！</p> <p>休憩をはさみ、後半は意見交換。</p>
7	「その他社会教育関係団体」Ⅲ	鳴尾北地区青少年愛護協議会	<p>鳴尾北地区で青愛協としてできること</p> <p>「安心安全なまちで 笑顔いっぱい子どもたちを見守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、自治会、各学校保、各団体と協力し、子どもたちに関わる全ての活動の見守り</li> <li>・鳴尾北地区青愛協の活動の推移</li> </ul>
		若竹生活文化会館識字学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若竹生活文化会館の概要</li> <li>・若竹生活文化会館識字学級の経緯について</li> <li>・若竹生活文化会館識字学級の現状について</li> <li>・兵庫県内隣保館の識字学級の現状について</li> <li>・若竹生活文化会館識字学級の今後について</li> </ul>
8	特別部会	【講演】 仲島正教	<p>演題 「みんなで磨こう人権感覚」</p>
9	人権啓発	座談会 神戸IDAHO (吉川ヒロ)	<p>神戸で性の多様性啓発の路上アクションを行う「神戸IDAHO」です。本企画担当は、LGBTQ+や性の多様性を切り口とした、人権やコミュニケーションの出前授業や研修に取り組んでいます。現場の教育での疑問不安や質問に回答したり、自他の多様性に触れる機会を提供予定です。</p> <p>[プロフィール] 吉川ヒロ：性的マイノリティ当事者として性の多様性の啓発活動・当事者の相談支援に長年携わる。西宮市内の学校を含め、出前授業や研修講師/講演家として活動中。</p>